

「ささやかな業務改善」

1. 「紙ホッチキス」

右掲上は、紙ホッチキスと呼ばれるものでPPC4枚程度をとじる事ができる物です。従来からある針式のホッチキスとの違いは大きく2点あります。まず、右下のように紙に穴をあけて、自動的に折り込みを行う方式なので「針」という消耗品が不必要です。もう1点は、紙を折り返すので、紙の厚さだけが増える(針の場合の半分以下?)ので嵩張らないというメリットがあります。



欠点は、ホッチキスできる枚数が4枚程度と少ないのですが、大多数の書類をカバーします。それ以上の枚数をホッチキスできる高級機もありますが、価格がグッとあがります。右掲のような物は、数百円ですが高い物は数千円にもなります。



そういう意味で、当社では数枚の書類は紙ホッチキス、それ以上の枚数の場合、針式のホッチキス、または、ガチャック(仮留めの場合)を使用するように考えて使い分けています。今のところ、紙ホッチキスでも十分にバインドしていますので、ほぼ問題なしと判断しています。

2. 「紙ホッチキス」のメリット

実際に、当e-資料を針ホッチキスを外して、紙ホッチキスにやり変えましたところ、D-リング・ファイル3冊に1~200号分を収納していたのですが、それが2冊に済む結果となりました。すなわち、1冊分が浮いたのです。D-リングファイルは1冊400円程度なので、2冊浮かせると元がとれる感じでした。その他、ホッチキスの芯も不要なので、長年の使用で十分メリットが出ると確信します。

こんな金銭的なメリットの他に、資料を配賦する時に「紙ホッチキス」が話題になり、当社のエコへの取り組みの一環を理解して頂いています。イメージ・アップという程ではないですが、結構、紙ホッチキスを見て感心されているので、お薦めすると共にちょっと先進性を感じ自己満足をしています。

3. ささやかな改善のコツ

改善というものは、必ず「こんなのが欲しい」という前向きな要求が付き物です。今回の紙ホッチキスのように、針ホッチキスが普及しているので「必需品」という訳ではない場合が多いのですが、新しい物を若い人は要求すべきと思うのです。保守性の強い会社では、新しい物への取り組みが押さえられているケースが多いですが、「我慢」するのではなく、こまかいメリットを取り上げて何度も要求すべきと思います。新しいモノに置き換わるほど、人は育っていると思います。

【まとめ】

1. 「紙ホッチキス」が出ている
2. D-リングファイル3冊が2冊ですんだ
3. 今普及している商品も大事だが、新しいモノを取り入れてささやかな改善で人を育てる

【AMIニュースのバックログは<http://www.web-ami.com/siryu.html> でご覧になれます！】